

活動報告

団体名	社会福祉法人瀬戸内市社会福祉協議会
活動名	豪雨災害による被災者に対する支援物資の配達及び現地ボランティア活動
活動期間	2018年7月～2018年12月
活動の成果	<p>支援物資の配送については、岡山市、倉敷市、総社市、高梁市の支援物資受付場所へ、長期間に渡り、必要に応じて渡すことができた。</p> <p>課題としては、支援物資を募集する際に各市のホームページ等で確認しながら受付をしたが、日々必要なものが変わるため、募集が難しかった。また、他団体や個人で集めて寄付をしている方もおられ、支援物資が被ってしまうこともあった（例：ランドセル、ハンドタオル等）</p> <p>各被災地が受付を終了してしまい、多数の在庫を抱えていることも課題として挙げられる。</p> <p>ボランティア活動としては、現地へ行き各災害ボランティアセンターの指示を仰ぎ、柔軟に対応することができたと思われる。</p> <p>また、直接被災地に行くことにより、現在必要な支援物資や災害ボランティアセンターが必要としている活動支援物資を把握することが出来たため、活動の仕方として良かったように思われる。</p> <p>課題としては、夏場の熱い時期に軽度な熱中症と思われるボランティアもいたため、水分補給の仕方や活動方法などを事前に勉強会等を行ってから参加した方が良かった。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>被災された方から直接お話を伺うことが多かったのですが、支援物資が不足している状況もあり気分が落ち込んでいたり、苛立ちを隠せない人も多かったように思います。そのような中で、支援物資を届けたことを報告すると、大変感謝されたくさんの方からお礼の言葉を頂きました。</p> <p>また、私たちは実際に家具の片付けや家の掃除等にも参加し、お手伝いをさせてもらったのですが休憩時間には、当時の状況を教えて頂いたり、ご自身の取った避難行動を細かく教えて頂き、勉強になることも多かったです。活動終了後には涙を流しながらお礼を述べられるなど、普段の生活ではない貴重な経験をさせていただきました。このような被災地への支援・活動ができたのは、ご寄付を頂いた皆さまのご支援があったからこそだと考えています。本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

